

第9回

みらい

未来担い、手養成塾

活動報告書

とき 平成27年2月4日(水)18:30～
ところ エキパル倉吉 多目的ホール



<第9回内容>

新年最初の開催となる今回は、前半にグループごとに協議・まとめ作業を行い、後半には途中経過の発表及び質疑応答を行いました。

<各グループによる途中経過の発表>

【Aグループ】「就学児童を持つ世帯への支援策について」

- ◆第8回以降、市担当課と協議を行った。これまでどおり、ターゲットは小学校入学を機に市外へ転出する世帯としたい。
- ◆子育て世帯から見て現サービスがどうか検証する必要がある。倉吉から中部周辺町へ転出した世帯へ聞き取りを行い、その内容を踏まえて3月の最終報告会へ向かう。

《質疑》

- ・子育て施策だけでなく、住居面に対する支援策も検討する必要があるのではないか。
- ・空き家等を活用し、若い世帯向けに何かできないか。

【Bグループ】「地域活動を応援する施策について」

- ◆第8回以降、市担当課に聞き取りを行った。既存の補助金制度については、実績もあり中身はしっかりしている印象を受けた。
- ◆一方で制度の周知や市民団体同士のつながり不足等が課題。
- ◆実際に、補助団体と非補助団体それぞれへ聞き取りを行う。

《質疑》

- ・市民団体へ聞き取りを行うことで、行政が聞けないことを聞くことができればおもしろい。認識のズレがないだろうか。
- ・現状は単発事業に対しての補助のみで、使い切れない場合も。事業単位ではなく、各団体の年間を通した活動に対して補助ができないか。

<第9回を終えて>

昨年7月から始まった本事業も、残すところ数回のみとなりました。年度末の3月20日(金)には、集大成となる最終報告会を行い、1年間の活動の総仕上げを行います。

また、番外編として、本事業を企画立案するにあたって参考にさせていただいた、京都府舞鶴市の政策づくり塾との合同塾を2月20日(金)～21日(土)にかけて舞鶴市にて実施し、両塾生の交流をはかります。(事務局)

